

大杉谷

風のたより

平成 25 年 10 月 (第 54 号)

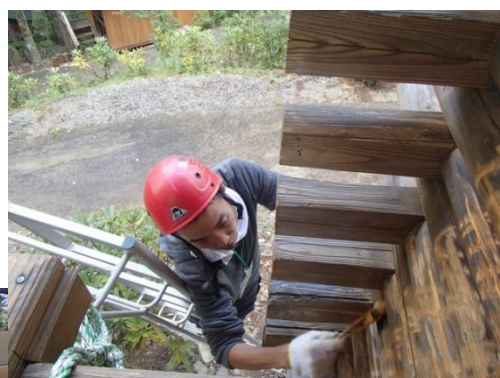


== 集まれリフォーム隊! ==



外装を塗装する隊員→

←杉板を丁寧に張る隊員



9月28～29日にかけて大杉谷地域おこしの会主催の「コテージ リフォーム隊」が実施され、大杉谷林間キャンプ村に県内外から集まったリフォーム隊11名は、コテージやその周辺の清掃や簡単な修繕を行いました。外装は塗装し、内装は杉の壁板を大工さんの指導を受けながら貼り付けました。

生まれ変わったコテージを是非ご覧に来て下さい。

認知症講演会

日時 平成25年10月29日(火)
午後1時30分～
場所 林業総合センター(江馬)
内容 知っておきたい認知症のこと
講師：高槻絹子氏(臨床心理士)

物忘れ相談会

日時 平成25年11月14日(木)
午後2時～4時
場所 宮川総合支所(江馬)
内容 1人30分 予約が必要
健康ほけん課(82-3785)

問合せ先：健康ほけん課 82-3785

山里ふれあい自然薯収穫祭

自然体験型交流イベント第五弾、自然薯の収穫祭を下記により実施します。
親類やお友達にお声がけください。申込及び問い合わせは下記までご連絡ください。

記

日時：11月4日(月祝) 午前9時30分～午後3時

参加費：100円(保険料)

内容：山芋(自然薯)掘り体験

自然薯料理の体験と試食会など盛り沢山!

場所：大台町桧原地内

主催：大杉谷地域活性化 やったる会

申込：大杉谷出張所(78-3001)まで



「第8回どんとこい大台まつり」の開催について(お知らせ)

日時 平成25年11月10日(日) 午前10時～

場所 大台町藪地内(奥伊勢フォレストピア)

詳しくは実行委員会事務局(産業課：82-3786)

人口の動き(前月比)

住基人口	世帯数
276	148
(-7)	(±0)

男	女
113	156
(-2)	(-5)

あとがき
先日ラジオを聞いていたら海水温が高くなった影響で魚の獲れる場所が変わってきた。しかし十年ほど前から変化がみられているそうです。最近では、それが普通になってきたように思えると漁業関係者が話していました。
魚は本能で住みやすい環境を求めて移動し始めたのでしよう。人間社会も都市部の環境から田舎の自然環境を求めて移り住む方も増えてきました。逆に何も無いと思って田舎から都市部を目指す方がいるのもごく自然なことなんですよ。ね。

(野呂)



集落支援員あらいの諸行無常な日々

10月に入り一気に秋らしい気候になりました。冬に近付くにつれ、寒さが厳しくなりますがこれからの時期は木々の紅葉は楽しみですね。



先日開催された岩井区の健康相談にて、特別な装置を使い血管年齢や脚力、代謝率などを測定して貰いました。30代の私より、圧倒的に健康体の地域の方々の姿に、日頃の自分の健康への意識の低さを反省しました。

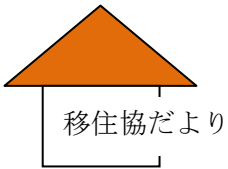
介護を受けたり病気で寝たきりになったりせず、自立して健康に生活できる期間を「健康寿命」というそうです。平均寿命と健康寿命との差は、日常生活に制限のある「不健康な期間」を意味し大台町ではその差が、男性が2.7年、女性が6.6年だったそうです。社会の高齢化が加速する中、単に寿命を延ばすことから、「健康に長生きすること」が重視されるようになってきました。慣れ親しんだ自宅で、心身共に末永く生活するのが誰もが描く理想的な老後ではないでしょうか。



【和気あいあいとした雰囲気の中行われた健康相談】

私の大正10年生まれの祖母も休むことなく働き通しの人でしたが、数年前から病気や認知症の影響で、自宅で生活するのが困難になり介護施設を利用しています。大杉谷に来てから、ここには高齢の方が要介護状態になるのを予防し、いつまでも元気で自宅でいきいきと生活することを目的とする「いきいきサロン」あることに驚きました。

長年、「いきいきサロン」を利用する多くの方からは、サロンへ行かない日は、テレビを見ているか寝ていることが多く一日が長く感じるけど、サロンに行くと楽しくて一日があっという間に過ぎてしまうと聞きます。私がサロンに時々お邪魔する時も、終始笑いが絶えずこちら元気が貰えます。「笑う角には福来たる」といいますが、最先端医学の世界では、「健康・長寿の特効薬」ともいえるような「笑い」の健康効果が次々と証明されつつあるようです。幾つになっても明るく仲睦まじく暮らす大杉谷の皆さんの姿を参考に、自分自身の心と身体の健康に気をつけようと思いを新たにしました。



空き家リフォーム塾が始まる！

大杉谷移住促進協議会では、地区の過疎化を緩和し、地域の方々が安心して生活が続けられるよう、移住者を誘致する活動をしています。

平成25年度 第1回古民家リフォーム塾（解体編）が9月21—22日に行われました。

旧ダム管理事務所宿舎3棟の建物は、1棟は解体し、2棟を「リフォーム塾」で修理します。その後は、おもに大杉谷への移住を考える方向けの「短長期おためし移住」用建物として活用予定です。

9月に解体したのは、土台が傷んだ中央の1棟です。



壁土集め作業



瓦を降ろす作業

遠方の参加者さん、ボランティアさん、地元の方など多くの方のご助力のもと、無事解体が終わりました。有難うございました。

解体で出た建材は、資源として可能な限り地元で再利用いたします。

- *土壁⇒ 生ごみリサイクル、壁の修理やピザ釜を作りたい方に
- *木材⇒ 薪や物置小屋用に（木材ご希望の方はお声かけください）

これから、来年3月まで久豆編「古民家リフォーム塾」で多くの田舎暮らし希望者が来訪されると思います。ここでは来訪者と地元の方との交流も目指しています。

どんな方が参加されているか、皆様ぜひ見学にいらしてください。

*期間中は参加者が地域内を散策させて頂く場合があります。

*騒音・粉じん・ゴミ・駐車など出来る限り注意致しますが、万一ご迷惑をおかけした場合はご指導をお願い致します。

大杉谷移住促進協議会（事務局 NPO法人 大杉谷自然学校内）
会長 大瀬耕二 事務 福岡美恵子
電話 78-8888 Email ijyu@osugidani.jp